

調査件名 ○○地区土質調査

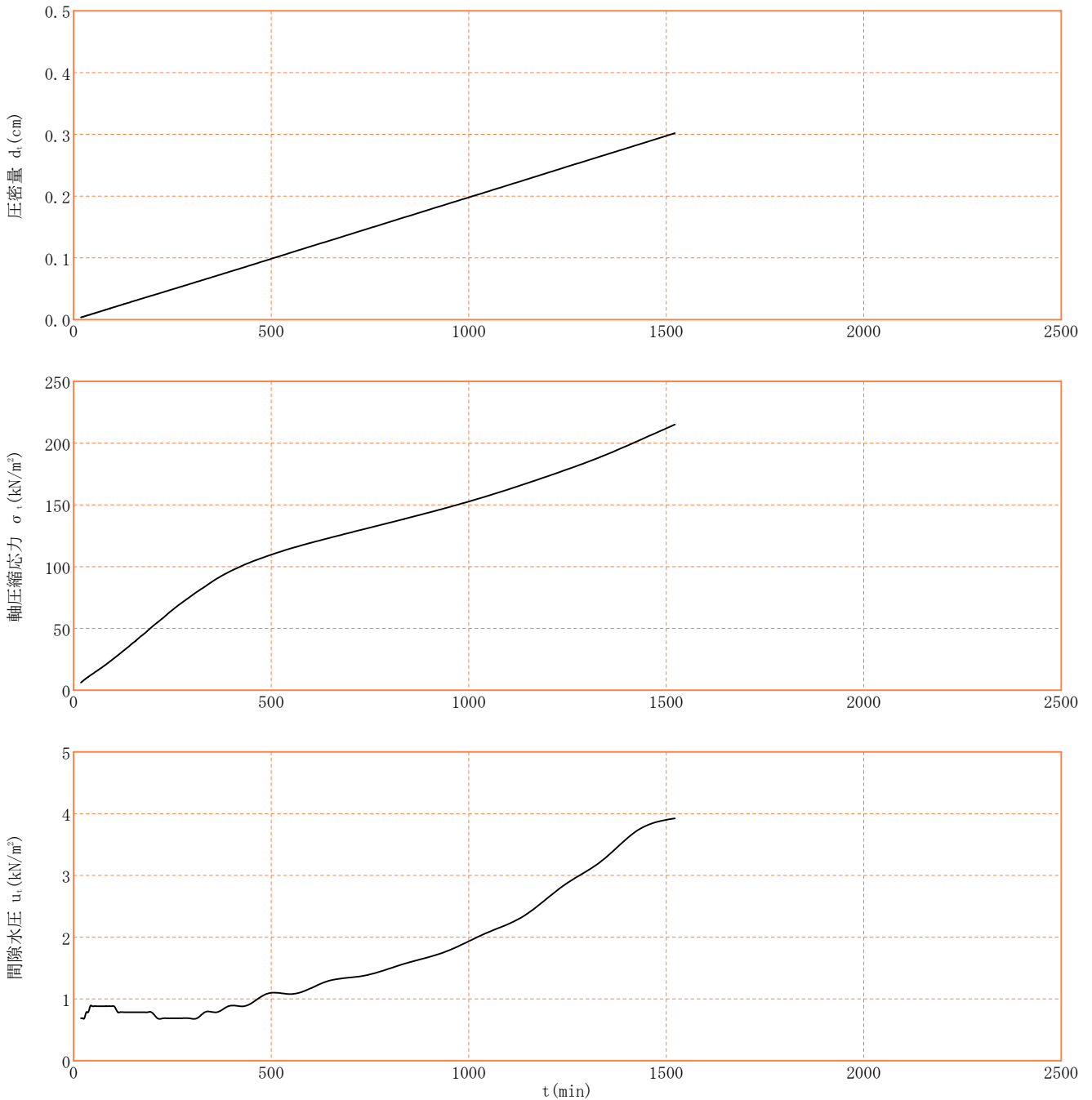
試験年月日 平成 17年 7月 30日

試料番号（深さ） T-12（15.00～15.80m）

試験者 石田 太郎

試験機 No.	1	供 試 体	直 径 D cm	6.000	初 期 状 態	含水比 w_0 %	101.0
最低～最高室温	20.5～21.0		断 面 積 A cm ²	28.27		間隙比 e_0 , 体積比 f_0	2.714
圧密に要した時間	1522.00		高 さ H_0 cm	2.000		湿潤密度 ρ_s g/cm ³	1.438
土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.657		質 量 m_0^1 g	81.30	飽 和 度 S_{r0} %	98.9	
液性限界 w_L %	97.4		炉乾燥質量 m_s g	40.45	ひずみ速度 %/min	0.01	
塑性限界 w_p %	39.1		実質高さ H_s cm	0.5385	背 圧 kN/m ²	200	

測定値の記録²⁾



特記事項

$I_p=58$ からひずみ速度0.01%/minに設定した。

1) $m_0 = m_T - m_R$

ここに m_T : (供試体+リング)質量 (g)

m_R : 圧密リング質量 (g)

2) 圧密量, 軸圧縮圧力, 供試体底面の間隙水圧の記録を図示するか, または別途添付してもよい。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

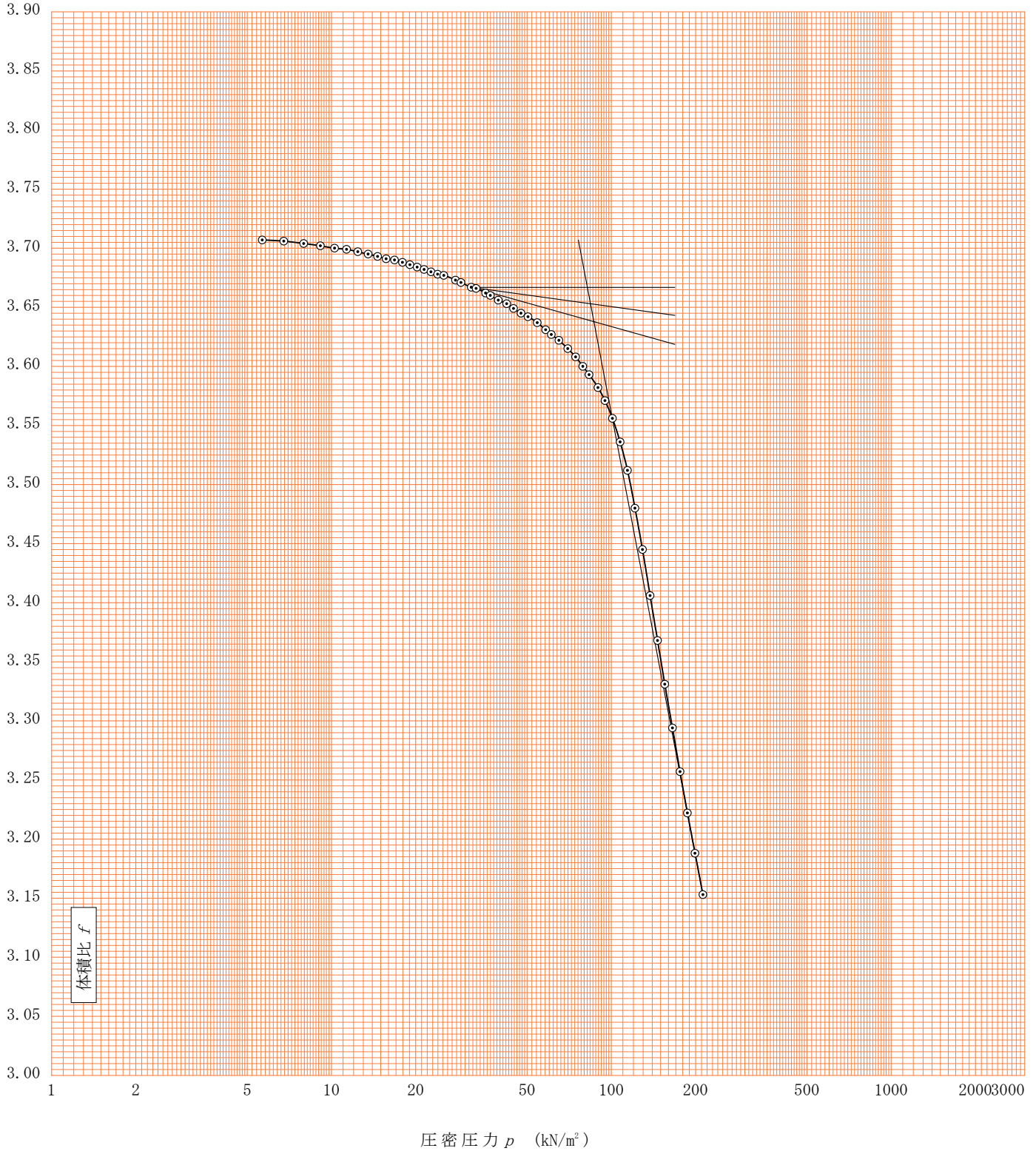
調査件名 ○○地区土質調査

試験年月日 平成 17年 7月 30日

試料番号(深さ) T-12 (15.00~15.80m)

試験者 石田 太郎

土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	初期含水比 w_0 %	初期間隙比 e_0 初期体積比 f_0	圧縮指数 C_c	圧密降伏応力 p_c kN/m ²	ひずみ速度 ¹⁾ %/min
2.657	97.4	39.1	101.0	3.714	1.246	84.331	0.01



特記事項

1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。

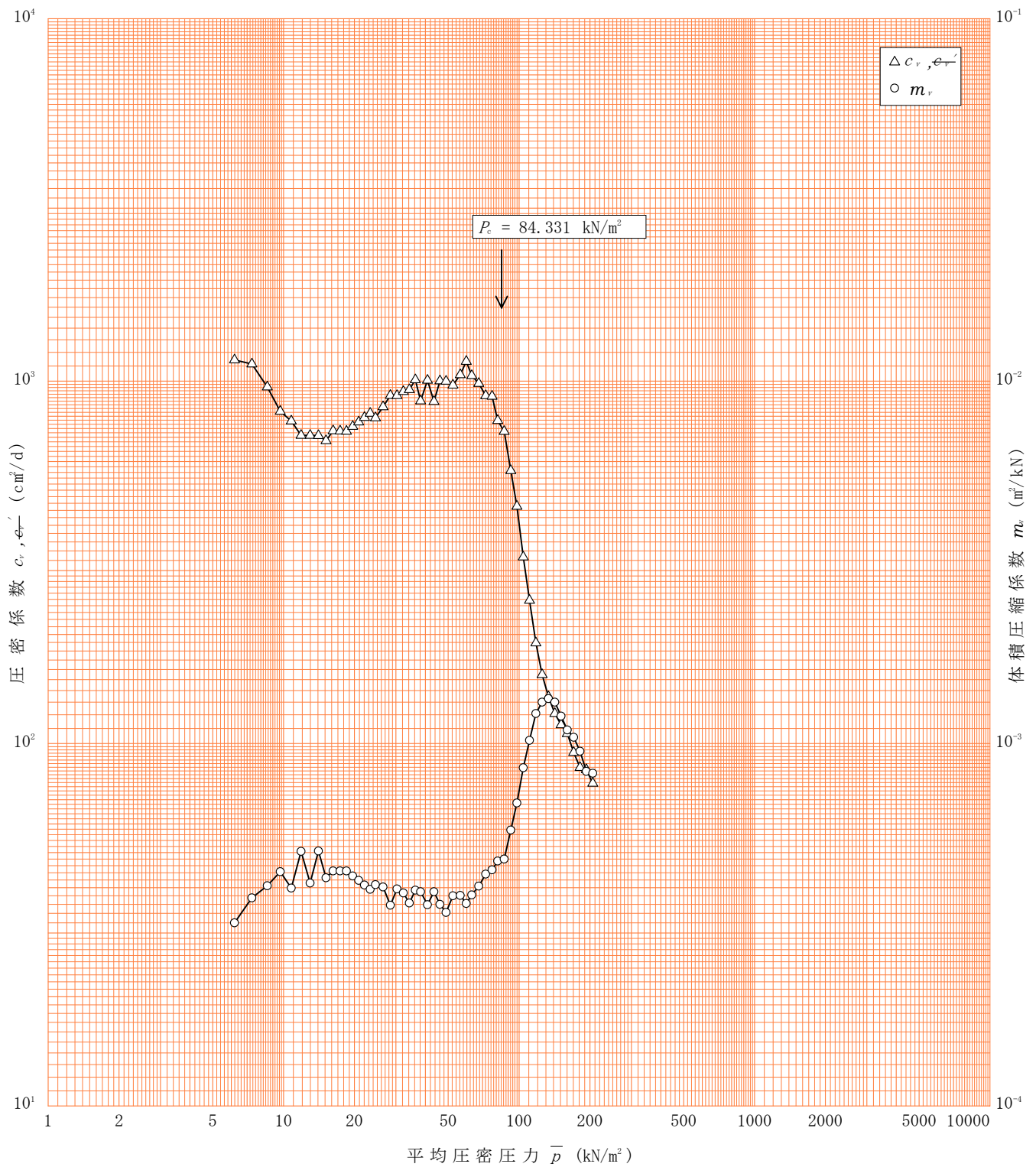
[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

調査件名 ○○地区土質調査

試験年月日 平成 17年 7月 30日

試料番号(深さ) T-12 (15.00~15.80m)

試験者 石田 太郎



特記事項

[$1\text{kN/m}^2 \neq 0.0102\text{kgf/cm}^2$]